

マーケットの動き（2024年11月25日～11月29日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は、22日にトランプ次期大統領が次期財務長官に投資ファンド経営者のスコット・ベッセント氏を指名したことを受け、次期政権の経済政策がインフレ圧力を和らげながら景気後退を抑えよとの期待が高まり株価は上昇しました。その後、利益確定売りや祝日前の持ち高調整の売りが入りましたが、米国長期金利が低下したことを好感し、S&P500種株価指数、NYダウともに史上最高値を更新しました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し（2024年11月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに下値を切り上げる展開

企業業績については、景気減速の兆しがみられるもののFRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げを継続する姿勢に加えて、実質賃金の上昇が個人消費にプラスとみられることから、概ね堅調とみています。米国株式相場は、大統領選挙後の新政権による政策運営を巡り変動率が高まる可能性はありますが、FRBが景気や雇用に配慮した予防的な利下げを行うとみられる中、底堅い企業業績にも支えられ下値を切り上げる展開になるとみています。欧州株式相場は、ドイツでは景気減速が懸念されますが、ECB（欧州中央銀行）の利下げ継続によって域内景気が緩やかに回復するとみられる中、米国市場に連れて下値を切り上げる展開になるとみています。

	11月29日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,032.38	1.06%	3.42%	14.53%	32.56%
NYダウ	44,910.65	1.39%	6.34%	16.83%	26.76%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

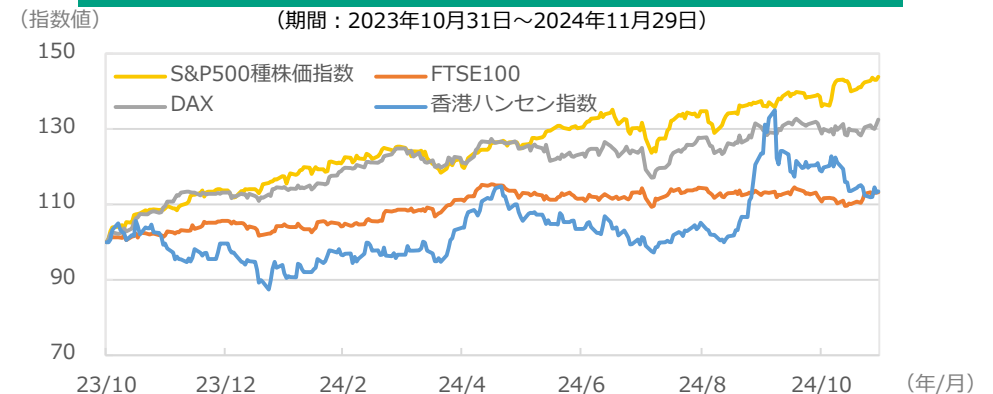
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202411_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成